

江戸時代 佐那河内の姿



棟付帳に見る

写真:徳島地方史研究会

11. 令和4年 6 日曜

10:00~12:00 (終了予定)

参加
無料

佐那河内村役場
(村民ホール)



金原 祐樹

きんばら ひろき

1965年生まれ。神奈川県茅ヶ崎市出身。
平成元年徳島県文化の森の建設に伴い徳島県立文書館の古文書専門員として徳島県に入庁。以来徳島県立文書館職員として、30年を超えて文書館資料の収集・保存・整理・活用に携わってきた。また、徳島地方史研究会の会員として徳島地域史の研究および阿波学会への参加を続けてきた。2022年徳島県立文書館長に就任。専門として江戸時代の社会に関心を持っている。

上佐那河内村の庄屋であった稲木家には、江戸時代の戸籍帳簿とされる「棟付帳(むねつけちょう)」が残されていました。

棟付帳は一般的に明暦・正徳・享保・文化の4回作成されたとされていますが、享保と文化の間、安永期に作成されたものを含む5回分の「佐那河内村棟付帳」が残されています。

こうした帳簿から江戸時代の佐那河内を実際に生きた人々について探ってみようと思います。

さち香る 風の谷



SANAGOCHISON

■主催：佐那河内村

■後援：阿波学会

お問い合わせ 企画政策課 TEL.088-679-2973

新型コロナウイルス対策を実施しております。ご協力をお願いします。



マスク着用



室内換気



室内除菌



対人距離確保



体温管理



手洗い